



株主・投資家の皆さまとの対話

透明性、信頼性の高い情報開示と誠実なコミュニケーションを通じて、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指します。

情報開示

当社は、株主や投資家の皆さまに対する適時・適切な開示が、意思決定の透明性、公平性の確保と実効的なコーポレート・ガバナンス機能を担保するとともに、当社に対する理解の促進や適正な市場評価を通じて企業価値の向上につながると考えています。

このため、法令に基づく開示だけでなく、ホームページを中心として主体的に情報発信をおこない、透明性と信頼性の高い情報開示体制の構築に努めています。

また、利用者にわかりやすく、投資判断に有益な情報開示になるよう、資料での表現や記載方法に配慮するとともに、財務情報・非財務情報の拡充を図っています。さらに海外の株主・投資家の皆さまにとり、特に重要と思われる情報については英語版の資料を作成して開示するなどの対応をしています。



IRサイト

定時株主総会招集ご通知

※株主や投資家の皆さまへの情報開示については、当社ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.dexerials.jp/ir/>



株主総会

当社では2022年6月の第10期定時株主総会の開催にあたり、COVID-19の拡大防止の観点から書面に加え、個人株主向けにはインターネット上の議決権行使サイト、機関投資家向けには議決権電子行使プラットフォームからの事前の行使をお願いするとともに、招集通知の早期発送や情報の充実、関連資料のホームページへの事前掲載、スマートフォンやパソコン等で簡単・便利にご覧いただけるウェブサイト版招集通知の掲載など、株主の皆さまに広く、公平に情報を提供し、権利行使のための十分な情報と検討期間が確保できるように努めました。

株主総会の会場においては、十分な間隔を確保したほか、会場内外にアルコール消毒液の設置をおこない、ご来場の株主さまには受付前で体温測定のご協力をお願いしました。当社役員および株主総会運営スタッフはマスクを着用するなど、さまざまな感染拡大防止に取り組み、安全で円滑かつ効率的な議事進行に努めました。

なお本株主総会の模様につきましては、開催当日にインターネットでライブ中継をしており、当社ウェブサイトにも質疑応答を含めた動画を掲載しております。

IR活動状況

2021年度におけるIR活動状況は以下の通りです。
なおCOVID-19の感染収束の長期化により、株主・

投資家の皆さまや当社社員の健康と安全確保を最優先とし、2022年11月現在ではアナリスト・機関投資家の皆さまとの面談や会場を使用した説明会は原則オンライン（ウェブサイト・電話会議）を活用し、従来と変わらぬコミュニケーションを実現しています。今後も株主や投資家の皆さまなどから寄せられたご意見・ご要望をIR活動の向上に活用し、中長期的な企業価値向上を目指してまいります。

活動	内容
アナリスト・国内外機関投資家との面談	アナリスト・国内外の機関投資家との個別面談や証券会社主催のカンファレンスへの参加
機関投資家・アナリスト向け説明会	四半期ごとの決算説明会に加え、投資家の関心が高いと思われる当社事業やESGなどの各種説明会を実施
個人投資家向け説明会	- インターネットによる会社説明会を実施。当日ご参加できなかった方向けにも事後に説明会動画および内容の書き起こしを配信 - 決算説明会やESG説明会などの質疑応答まで含めた動画および内容の書き起こしを当社ウェブサイトにて掲載
ホームページにおけるIR情報の掲載	- 決算短信や決算説明会資料を始めとする開示資料、有価証券（四半期）報告書、株主総会関連資料やIRイベントカレンダーなどを掲載 - 決算説明会の動画配信、内容の書き起こし付き説明会資料（質疑応答含む）を掲載 - 過年度の主要な業績・財務データを、多様なグラフにカスタマイズして表示することができるチャートジェネレーターを2021年度より導入



社会貢献活動

デクセリアルズグループは、CSR方針のなかで、「地域社会への貢献」を取り組み事項の一つとして特定しています。この方針に則り、所在する地域の活性化や、よりよい環境を未来へ引き継ぐために、国内各地や海外で地域貢献活動をおこなっています。

地域貢献活動

トピックス：国体パートナーとして国内最大のスポーツの祭典へ協賛、多くの社員がボランティアとして大会をサポート

「いちご一会とちぎ国体」「いちご一会とちぎ大会」への協賛とボランティア活動参加

当社は2022年10月に42年ぶりに栃木県で開催された国内最大のスポーツの祭典「いちご一会とちぎ国体」（第77回国民体育大会）、ならびに国内最大の障害者スポーツの祭典「いちご一会とちぎ大会」（第22回全国障害者スポーツ大会）に「国体パートナー」として協賛しました。

また、大会を盛り上げるべく社内でボランティアを募集し、事前研修を経て大会運営のボランティア活動に参加しました。グループ社員やその家族など計40名が、会場案内や整理、清掃などに従事し、大会をサポートしました。



デクセリアルズを支える力



生産統括本部
総務・施設部

出雲 照明

デクセリアルズは10周年という節目の年に、国体パートナーとして「いちご一会とちぎ国体」および「いちご一会とちぎ大会」に協賛しました。

42年ぶりに栃木県で開催する国体ということで、社内国体プロジェクトに事務局として参加することができ、大変うれしく思いました。

とちぎ国体閉会式では、実際にボランティア活動にも参加し、事前研修で教わった「おもてなし」の気持ちを大切にして、活動を実施しました。お客さまにご挨拶すると、気持ちよく挨拶を返していただいたり、またねぎらいの言葉をかけていただいたりすることがとても多くあり、逆にすごく良い気持ちにさせていただきました。今後も、近隣地域に貢献できるCSR活動を企画し、皆さんと一緒に継続していきたいと思っています。



環境保全

足尾の山に豊かな緑を取り戻す

当社は2009年より、NPO法人足尾に緑を育てる会が提唱する「足尾の山に100万本の木を植える」という趣旨に賛同し、法人会員として育苗、植樹、草刈、間伐などの森づくりをお手伝いしています。

例年、社員やその家族が参加する春の植樹イベントや、新入社員研修の一環としての秋の植樹活動をおこなっています。

渡良瀬遊水地の環境を守る

当社は2017年より、栃木市が自然環境の保全を目的に取り組む「渡良瀬ナイツクラブ」に法人会員として登録し、ラムサール条約湿地に登録されている渡良瀬遊水地の豊かな生態系の維持、生物多様性、自然環境を守る活動に参加、協力しています。

地域の清掃活動

栃木事業所、なかだ事業所、多賀城事業所等の各事業所において、周辺地域の清掃活動をおこなっています。



スポーツ振興

宇都宮ブリッツェンの支援

当社は2015年より、地域社会の活性化とサイクルスポーツの振興を目的に、栃木県の「地域密着型プロ自転車ロードレースチーム・宇都宮ブリッツェン」のパートナーとなり、チームの地域貢献活動「ドリームプロジェクト」の支援をおこなっています。



宇都宮ブレックスの支援

当社は2017年より、スポーツ振興を通じ地域の活性化に貢献することを目的に、プロバスケットボールチーム「宇都宮ブレックス」のパートナーとして支援をおこなっています。



B.LEAGUE 2021-22シーズン優勝
©TOCHIGI BREX INC.

「デクセリアルズ杯

第19回宮城県チャンピオンズカップU-12大会」開催

当社は、アマチュアスポーツの振興と地域社会への貢献を目的として、2013年から本大会のサポートを続けています。

2021年は宮城県サッカー協会とタイアップし、県内10地区の小学校6年生以下の選抜チームにより2日間にわたって対抗戦をおこないました。



寄付・寄贈活動

TABLE FOR TWO

栃木事業所、鹿沼各工場、なかだ事業所の社員食堂では、社員がヘルシーメニューの購入時に、開発途上国の学校給食1食分に相当する20円を負担し、1食ごとにこれを寄付する「TABLE FOR TWO」プログラムに参加しています。2021年度は計98,020円の寄付となり、アジア・アフリカの子どもたちへ4,901食分の学校給食を届けることができました。

リサイクル活動

Dexerials Hong Kong Limitedでは毎年、社員から不

要になった服、靴やカバンなどを集め、香港の社会福祉事業NGO団体 The Salvation Army Hong Kong and Macauへ寄付しています。



寄付活動

Dexerials Hong Kong Limitedでは昼食分を寄付する活動「Skip Lunch Day」に参加し、住環境に恵まれない地域をサポートしています。

また、The Community Chest Hong Kongの主催する「Love Teeth Day」に参加し、社員の健康に関する意識を高めるとともに、寄付を募り、貧困に苦しむ人々の歯科医療のサポートをしています。

デクセリアルズを支える力



Dexerials香港
総務・人事担当

黄 思朗 (コウ シロウ)
Claire Wong

2021年はコロナ禍により香港でのCSR活動に大きく影響を受けた年となりました。防疫政策により生活や仕事、特に屋外でおこなう活動に一定の制約を受けたにも拘わらず、予定していたCSR活動をすべて実行し、かつ参加率も最も高いという飛躍の年となりました。

毎年開催しているリサイクルおよび寄付活動に加えて、社内ワークショップ活動を新たに始めました。初年度は環境保護をテーマとし、身の回りにある素材を再利用してつくる天然洗剤・消毒ジェルの作り方を外部講師から学びました。参加した社員からは「今後自分でも簡単に作れそう!」というコメントをもらい、やりがいを感じました。

制限の多々あるなかでの活動で、改めて参加する社員の協力もCSR活動には不可欠であることに気がつきました。今後も香港の社員の協力による一体となったCSR活動を継続したいと思います。